



白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合

酪農だより

Vol.
698

令和2年3月号

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」～酪農家の心を食卓へ～

今月の特集

2019年度白バラ認証制度報告

現場潜入

製品の安心安全のために
官能検査講習会の現場

各種活動レポート

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ



2019年度

白バラ認証制度報告



白バラ認証看板を取り付けるようす(琴浦町 中原牧場)

**この牧場の牛乳を飲んでみたい
と思えるような牧場づくり**

昨年4月、良質生乳生産に関わる牧場の衛生管理を評価する大山乳業農協の独自認証制度「白バラ認証制度」が始動しました。

そして令和2年1月、春と秋の巡回審査と年末の認証審査を経て、認証制度初の「白バラ認証牧場」が誕生し、取り組みは2年目の春を迎えようとしています。

この牧場の牛乳を飲んでみたい。1人でも多くのお客様にそう思っていただけよう、この1年職員も生産者と一緒に普及活動に取り組んできました。

今回は生産者と職員二人三脚で行った取り組みの報告と今後の白バラ認証制度について紹介します。

生産現場の認証審査に 向けての取り組み

鳥取県の生乳は、大山乳業農協で牛乳をはじめとした製品に処理されるため、生乳の衛生管理は鳥取県全体で取り組むことが必要です。

一方で、牧場の運営は各生産者に委ねており、白バラ認証制度により一定の基準を設けることができるようになりました。

その他にも、認証制度に先駆け、鳥取県全牧場へ自記温度計の設置を行ったことで、生乳の鮮度の維持がこれまで以上に正確になりました。

白バラ認証制度は生産者の意識の変化も生み、「実際に認証審査に向け牧場の整理整頓などを行うことにより作業効率が上がった。何より牛舎がスッキリした。」という声もあったそうです。

鳥取県の生産者の皆さんは、実直で真面目、そして勉強熱心。ある人がそう表現しておられたのをふと思い出しました。

白バラ認証制度は、ひたむきに酪農に取り組む生産者を1人でも多く後押しできる制度へ成長していければと感じました。

生産者の想いを消費者に届ける 白バラ認証PR活動の今

白バラ認証制度は生産者の意識付けの他に、鳥取県産生乳の質の良さを「見える化」してPRする役割があります。

大山乳業農協では、白バラ認証制度の販促チームを結成。指導課・営業課・企画室からメンバーを集め意見を交わしました。

チームが販促の柱として選定した



1 2



3 4



1. 認証看板と一緒に(琴浦町 中原牧場にて)
2. 中原牧場の看板に認証看板が設置されました
3. 1年ごとにプレートが増えていきます
4. 完成したチラシと冊子
5. 販促媒体にE-POPを初採用しました
6. E-POP設置のようす(コープしが店舗にて)



5 6



03 酪農だより

媒体は、様々な場面で配布しやすい「紙」、消費者にわかりやすく動画で紹介できる「E-POP」、そしてより多くの消費者に周知できる「ウェブ」の3つです。

紙媒体はチラシと冊子の2種類を作成し、イベントや学習会などに資料として配布しています。生協の店舗で行われる鳥取フェアでは実際に生産者が店舗に立ち、生産者の言葉とともに手渡すこともできました。

E-POPはタブレット端末で、地元の量販店や生協店舗などで大山乳業農協の牛乳のそばに設置していただいています。足を止めてくださるお客様の姿もあり、「大山乳業農協Ⅱ白バラ認証」というイメージに繋がっています。

さらに、ウェブでは大山乳業農協のホームページ内に特設ページを開設、ページでは箱庭を模したレイアウト

で楽しみながら取り組みを知ることができます。

その他にも、白バラ認証制度は大山乳業農協のメディア露出とともに、テレビ番組でも紹介されている他、大山乳業農協から発行される宅配情報誌、そして先日発売された他社とのコラボ製品の裏面でも紹介するなど、大山乳業農協をあげて白バラ認証制度をPRしています。

営業課ではこの認証制度を生かした営業や販促に取り組んでいます。

白バラ認証制度を通じ、1人でも多くの消費者に鳥取県の生乳の価値を伝え、より鳥取県の牛乳が求められるようになる事を願っています。

これから先も 共に力を合わせて

この取り組みを発展させていくには私たち大山乳業農協で働く職員全員がこの取り組みに興味を持ち、理解を深め、そして応援していくことが大切です。

白バラ認証制度は1年ごとに更新されます。今年認証された牧場でも翌年認証されるとは限りません。生産者が自身の想いや努力を可視化する「白バラ認証制度」に取り組んでよかったと思えるように、今後も生産者・職員が二人三脚で盛り上げて行きましょう。

今年もまた来年の認証牧場決定に向けた巡回審査が始まります。白バラ認証制度の取り組みはまだ始まったばかりです。

◆白バラ認証制度

白バラ認証制度は、これまで消費者からは見えにくかった生産者の取り組みをわかりやすい形にし、より安全・安心・美味しい牛乳を生産する事を目的とした独自認証制度です。

生産者は春と秋の2回行われる巡回審査と年末の認証審査の全てクリアすることで、認証牧場の看板を掲げることが出来ます。また、この制度は1年ごとに更新されるため、生産者は日々の管理を継続し、次の審査に挑みます。

本制度に取り組むことで、農場の衛生環境や作業環境がさらに良くなり、「この牧場の牛乳を飲んでみたい」と思ってもらえる酪農を目指します。

白バラ認証制度HP
QRコード▼





官能検査講習会の会場に並ぶサンプル



製品の安心安全のために 官能検査講習会の現場

訓練することで 鍛える人の感覚



大山乳業農協がお客様へ安心安全な製品を届けるためには「製造ラインを清潔に保つこと」や「製造のルールを守ること」などがあります。しかし、その製造ラインでも「絶対」ということはありません。

そんなとき、成分の数値とともに頼りになるのが「人の感覚」です。とくに味覚は訓練を積み重ねる事で鍛えられ研ぎ澄まされるといいます。

大山乳業農協では、この訓練を2ヶ月に1回開催される「官能検査講習会」で受けることができます。

参加する顔ぶれは製造部、品質管理部、製品開発センター、営業課、指導課、集乳担当者まで様々です。

牛乳に微量に添加されている甘味、塩味、酸味、苦味、旨味と言われる「五味」と、ランシッド臭、酸化臭、大豆臭といった「異常風味」を感知できるように訓練しています。

なぜ、一見畑違いの課の職員も参加しているのでしょうか。

その理由を探るべく今回は多くの職員にとって大切な技術である「官能検査」のスキルアップの現場に潜入しました。

意外と知らない 官能検査の現場



官能検査と言われると製品の検品の際に行う「テイスティング」を連想してしまいがちですが、大山乳業農協では製品になるまでにも様々な工程で官能検査が行われています。

官能検査とは、製品の検査の中でも人間の感覚を頼りに行う検査です。検査は味だけでなく、色や形状、物性等の見た目なども確認し良品ではない製品を出荷することを防ぎます。

人間の五感を使った検査は短時間で行えるだけでなく、機械よりも敏感といわれる人間の味覚や嗅覚は、機械では検知できないようなものも感じることができるといいます。

大山乳業農協の検査課では、機械による検査と平行して官能検査を行っています。その数1日100検体以上。

この検体数を検査課では3名で行っています。この検査は製品が出来上がる度、つまり「毎日」行っています。さらに、この官能検査の技術は検査課の職員以外にも大切なものだと思います。

大山乳業農協の場合、「生乳の集乳」「製品の製造ライン」そして「完成した製品」で官能検査が行われており、それぞれ別の担当者が官能検査に携わっています。

また、製品開発センターや営業課でも味覚や嗅覚を鍛えることで新商品の味を決める際に、微妙な味の違いを感じ取ることができるようになると、よりよい製品づくりにも役立つ技術です。

大山乳業農協では、機械の数値的な結果と人の感覚をうまく融合させることで、安心安全な製品、そしておいしい製品が出来上がっていくのだと感じました。

官能検査講習会の 現場に潜入



いよいよ官能検査に挑戦です！
案内されたのは、第一工場の一室。
官能検査は集中して行うため、部屋の中は話をするのをためらうほど。

まず初めに行うのは、「五味識別テスト」。白バラ牛乳に甘味、塩味、酸味、苦味、旨味の5つの味を添加したものを8つの検体から探します。

8つのうち3つは通常の白バラ牛乳。まずは白バラ牛乳と明らかにわかるものを探していくのですが、これが難しく、8つのうち、すぐに「いつもの白バラ牛乳と違う」と思ったものは3つ。それ以外の検体は何度も口に含んでみてようやくわかる状態です。

次に挑戦したのは「異常風味識別テスト」。これはランシッド臭や酸化臭、大豆臭を識別するテストです。

こちらも特徴的なものは気が付いたのですが、やはり全問正解には遠く及びませんでした。

官能検査の技術は継続して訓練することで鍛えられる技術ですが、数ヶ月で識別できる人もいれば、1年くらいかかる人もいるそうで、とにかく継続して訓練していくことが必要です。今回参加した官能検査講習会は、その技術を継続的に訓練する場として重要な役割を果たしています。

現在、重点的に官能検査講習会を行っている部署は、製造部や品質管理部、営業課、指導課、集乳担当と限られています。参加を希望する職員はどの部署でも参加することができます。

大山乳業農協は今後も機械と人が協力して安心安全、おいしい製品づくりに取り組みます。



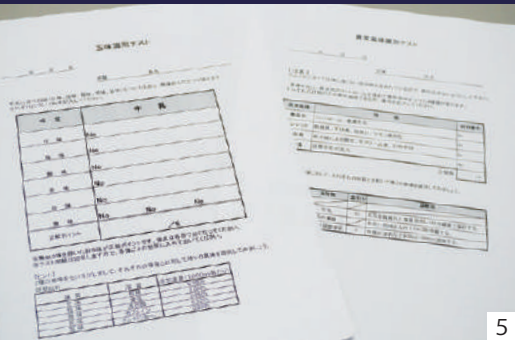
1 2



3 4



1. 「官能検査講習会」会場のようす
2. 官能検査は各々のペースで行います
3. 五味識別テストの8つは一見識別出来ません
4. 官能検査講習会中は会場は、しんとしています
5. 官能検査講習会で使用するチェック用紙
6. 今日でも安心安全おいしい製品をお届けします



5 6



営業課レポート

鳥取県生協の親子 約80名「大山乳業工場見学」開催

2月1日(土)、鳥取県生協の「たべる*たいせつキッズクラブ」が大山乳業農協にて開催され、22組約80名の親子が工場見学などを楽しみました。

このイベントは、親子で学びながら食に関わる人々の思いや苦労を考え、感謝する心を持つ豊かな人間性を育むことを目的に鳥取県生協が開催しており、今回は産直の取り組みでつながりのある大山乳業農協で「牛乳をもっと好きになる」をテーマに牧場の日常や生乳が牛乳となり店頭に並ぶまでを学ぶ「工場見学」と、搾乳を疑似体験できる「搾乳体験」、そして生クリームから手作りバターを作る「バターづくり」のグループに分かれ学んで頂きました。

各体験では、猛スピードで動く工場の機械に目が釘付けになる方や、真剣な眼差しで搾乳に挑戦している子供たち、容器に入れた生クリームの音に耳を澄ませながら一生懸命容器を振る姿など、日ごろ経験できない体験を楽しんでおられるようすがうかがえました。

参加者からは、「いつも飲んでいる牛乳の製造工程を子供達と一緒に見学できてとても良かった」「余った牛乳の粉乳化、不良品の堆肥化、下水処



たべる*たいせつキッズクラブのみなさん



搾乳体験の様子

理、牛糞の利用など、牛乳を飲む人だけでなく、牛・地域の人・土地に優しいということが印象に残りました」など、楽しむだけでなく大山乳業の牛乳がおいしい理由などをしっかり学んでいただけた体験となりました。

総務課レポート

「第26回安全運転鉄人コンテスト 琴浦大山」表彰式に参加

令和2年2月15日(土)大山町中山農村環境改善センターにて「第26回安全運転鉄人コンテスト琴浦大山」表彰式が行われ大山乳業農協からも代表者が参加しました。

今回は鳥取県交通安全協会琴浦大山地区協会管内の事業所、一般チーム271チームがエントリーし、231チームが無事故無違反を達成し、そのうち大山乳業農協からは例年より7チーム多い14チームが参加、12チームが無事故無違反を達成しました。

表彰式では、琴浦大山地区安全運転運行管理者協議会を代表して総務部陰山次長が飲酒運転根絶宣言を行いました。今後とも組合全体で交通安全に努めましょう。



飲酒運転根絶宣言を行う総務部 陰山次長

製造部レポート

市乳課 新ゲーブル充填機起動式



起動スイッチを押す小前組合長

3月1日(日)市乳課新ゲーブル充填機の起動式を関係業者のみなさんと一緒に行いました。まずはじめに、四方祇いを平野専務が行い、その後、小前組合長より起動スイッチのボタンを押され、「白バラ牛乳1000ml」の充填が無事開始できました。

新充填機は、500ml・1000mlの紙パックの充填が可能で、能力は、1時間に7000本の充填ができます。包装ラインでは、この度初の段ボールケーサーを導入して、遠隔地にも輸送でき、クレート回収のコストも削減できます。また、近年他社品でも展開されています「キャップ付き」の紙パックとしても同様に製造が可能となります。

これからも、安全で安心なおいしい牛乳を飲んでいただけるよう日々努力を重ねてまいります。

第11回 ニッコリ挨拶の力

3月も半ばを過ぎ、もうすぐ新しい年度が始まりますね。新しい場所でのスタートに不安なこともあると思います。

そんな時皆さんにお勧めしたいのが「挨拶」です。「挨拶」は、他人との間に生じる緊張感を解きほぐす効果があります。また、挨拶を交わすことでお互いを意識し、信頼関係を築くことにつながります。

品質管理の仕事の1つに他メーカーの工場点検があります。工場によって、衛生管理や設備などレベルは様々ですが、印象を決めるのは働いている人たちの「こんにちは」という掛け声です。働いている人誰もが積極的に挨拶してくださる工場だと、信頼できるメーカーだなという気持ちになります。逆に挨拶の無い工場だと、歓迎されてないのかな、何か見られたくない所があるのかな?と不信感が生まれます。

「挨拶」は簡単にできるコミュニケーションの第一歩です。ただ、コツが必要です。それは「笑顔」です。無表情でボソボソした声では何を言っているのかわかりません。逆に不安になってしまうかもしれません。「あなたに挨拶しているのよ。」と分かるように、ニッコリと挨拶してみてください。人は幸せだから笑うのではなく、笑うから幸せになるのだそうです。世の中は新型コロナの影響で先が見えず不安もあります。でも、こんな時だからこそみんなで笑顔で挨拶しましょう。



組合員さんの
趣味・特技を紹介

ほっとびとき

らくのう ギャラリー

佐藤陽子さん(大山町)

去年11月に新しい牛舎が完成し、牛デザインのトイレのピクトグラムを探していましたが見つからず「自分で作ってしまおう!!」とステッカーを作りました。友人からも好評で手元には残り僅かに。我が家オリジナルのピクトグラムの完成です。



ことうらのミルクさん(琴浦町)他

私達の趣味は手芸で、月に1度、手芸教室に通っています。

作品は簡単なものと2～3時間程度、なかには数ヶ月かけて作ることもあります。細かい作業や時間のかかるものがありますが、丁寧に時間をかけて作る達成感は何とも言えません。これからも、楽しく手芸を続けていきたいと思っています。



皆さんからの投稿お待ちしております

直接お持ちいただく際は、指導課山根・企画室福井・佐伯まで。メールで投稿の際は、件名へ【らくのうギャラリー行き】とご記入頂き、email@dainyu.or.jpへお送りください。

私のオススメ

皆さん、こんにちは。検査課の遠藤です。私のおススメは、宅配専用「白バラGABA Aヨーグルト」です。

私は仕事から、製品の検査をほぼ毎日行っていますが、白バラGABA Aヨーグルトは、甘さと酸味のバランスが丁度良く、何かほっとした気分になさせてくれます。

また、この製品には、ストレスの低減、睡眠の質の向上に効果があるといわれている「GABA」や、免疫力のUPに貢献する「シールド乳酸菌」、「ビフィズス菌B-12」が配合されています。

現在、全世界で新型コロナウイルスウィルスが猛威を振るっていますが、このような時こそ、大山乳業のおいしいヨーグルトを毎日食べて、病気に負けない元気な体を作ってくださいませ。



毎日の元気な体作りに!!



第47回 らくのうこどもギャラリー作品募集のお知らせ

■ 募集規定

- ①酪農を中心とした題材の図画（大きさは自由）
- ②自作で未発表のものに限ります。
- ③作品には、題名・住所・氏名・振り仮名・年齢・学校名・学年・保護者名を必ず記載してください。また、酪農家の子弟については保護者の所属組合名を記載してください。
- ④作品返却を希望される方は応募時に返却希望の旨を申し出てください。

■ 応募資格

4歳から中学生までの酪農家の子弟、および酪農に関心のある一般のお子さん。



昨年応募作品

■ 締切日

令和2年5月15日（金） ※事前審査のため

■ 提出先

全酪連大阪支所内 西日本酪農青年女性会議事務局宛
〒532-0011
大阪市淀川区西中島 5-14-10 新大阪トヨタビル 6F
TEL：06-6305-4196

■ 事前審査

応募多数の場合は西日本酪農青年女性会議による事前審査を行い、10点以内で全国会議に推薦します。

■ 褒 賞

- 特選・・・1点
- 入選・・・4点以内
- 秀作・・・若干
- ファミリー賞・・・若干
牛とのふれあいなど、ほのぼのとした雰囲気を持つ作品に贈られます
- あすなろ賞・・・若干
小学校入学以前の方の優秀作品に贈られます



第46回特選
「なが〜い舌でお食事中」▶

■ その他

- ①特選に選ばれた方は、保護者（1名）同伴で第49回全国酪農青年女性酪農発表大会（仙台市）に招待します。
- ②入賞者には記念品を贈呈いたします。
- ③応募者全員に謝礼を進呈します。
- ④図画の優秀作品は、作者の顔写真と審査講評とともに「全酪連会報」の最終ページに掲載します。

第11回 酪農いきいきフォトコンテスト作品募集のお知らせ

全国酪農青年女性会議では、酪農家の生活や牛乳の生産現場をより鮮明に消費者に伝えていくことを目的に、「酪農いきいきフォトコンテスト」を実施します。ふるってご応募いただきますようお願い致します。

■ テーマ

- ①「乳牛のいる風景」
 - ②「酪農作業風景」
- ※いずれも、酪農家がいきいきと生乳生産に励む様子や、安心安全な生乳生産のため懸命に仕事に取り組む姿勢が感じられるようなもの。

■ 募集規定

- ①写真は可能な限り電子データで提出してください。
- ②自作で未発表のものに限ります。
- ③作品には、題名・氏名・ふりがな・住所・所属組合名を必ず記載してください。

■ 応募資格

酪農家

■ 締切日

令和2年5月15日（金） ※事前審査のため

■ 提出先

全酪連大阪支所内 西日本酪農青年女性会議事務局宛
〒532-0011
大阪市淀川区西中島 5-14-10 新大阪トヨタビル 6F
TEL：06-6305-4196

■ 審査方法

応募作品を「第49回全国酪農青年女性酪農発表大会」の会場内に掲載し、大会参加者の投票による審査を行います。（応募多数の場合は西日本酪農青年女性会議事務局による事前審査を行います。10点以内で全国会議に推薦します。）

■ 審査結果発表

- ①「第49回全国酪農青年女性酪農発表大会」2日目に投票結果を掲示します。
- ②「全酪連会報」の表紙に使用します。（号数未定）

■ 褒 賞

- 特選・・・1点（2テーマの中で特別に投票数の多かった作品）
- 入選・・・若干数（特選を除いて投票数の多かった作品数点）

■ その他

- ①入賞者には賞品を贈呈いたします。（全国会議）
- ②提出していただいた作品の返却はいたしません。
- ③応募していただいた作品は、全酪連会報への掲載を含め、今後各地での牛乳消費拡大活動（「父の日に牛乳を贈ろう！」キャンペーン含む）で使用する場合がありますのでご了承ください。



第10回応募作品

バリモー会

琴浦町 川本牧場へ牧場視察

2月4日(火)にバリモー会で牧場視察に行きました。バリモー会(バリバリ儲けようの会)は県西部の5軒程の酪農家が集まり、検定成績や繁殖について毎月勉強会を行っています。

勉強会には普及所、西部家保、大山乳業、全酪連の職員が加わり、時には皆でお弁当を食べながら、時には講師の先生を呼んで、毎月楽しく勉強しています。定期的に牧場視察も行っており、今年度は琴浦町の川本牧場へ行かせて頂くことになりました。

まず初めに搾乳室へ行き、パーラーを見学。搾乳手技について川本和昭さんから説明を受けました。参加者はそれぞれの牧場での搾乳手技や形態の違いについて、議論を深めておられました。その後搾乳牛舎へ向かい、参加者からは飼料や暑熱対策、牛床に関する質問や相談等があり、主に飼養管理に対する川本牧場でのやり方について教えて頂きました。そのまま育成牛舎、乾乳牛舎、ハッチを見学させて頂き、最後に発酵舎で堆肥処理について教えて頂きました。

参加者から「あまり他の牧場を見る機会が無いので、実際に行って、色々話が聞けて勉強になった」「もっと餌について聞きたい。個人的にまた行こうかな」等、様々な意見がありました。



川本和昭さん(左から2番目)に案内していただきました 勉強会のようす



バリモー会はこれからも定期的に視察研修を入れながら、毎月の勉強会を通して、より良い牧場経営になるよう頑張っていきます！

琴浦町酪農組合

地元の子供たちへ牛乳寄贈

3月9日(月)、琴浦町酪農組合の天野光雄組合長が同町立浦安小学校を訪れ、牛乳を贈呈しました。

今回の取り組みは、新型コロナウイルスの影響で全国の小中高等学校へ臨時休校が要請される中、琴浦町の子供たちも在宅待機や学童保育を余儀なくされていることを受け、琴浦町酪農組合として何か子供たちの健康維持に役立てないかという思いから実現しました。

贈呈にあたり、琴浦町酪農組合の天野組合長は「新型コロナウイルス肺炎の流行により全ての学校が休校の措置が取られ、自宅待機あるいは学童保育といった環境で子供たちの健康が心配される事態。こんな時こそ私達が日々育てる健康な牛から搾られた生乳を使った自慢の牛乳を飲んで、ウイルスに負けず元気に過ごしてほしいという思いを込めて、牛乳を寄贈します。」と挨拶されました。

早速、浦安小学校では当日学校で過ごしていた子供たちの昼食に白バラ牛乳200mlが並び子供たちの喜ぶ顔を見ることができました。

琴浦町の酪農家37戸で構成される琴浦町酪農組合は、3月9日(月)から3月24日(火)の平日11日間、琴浦町全域



昼食のようす
(琴浦町立浦安小学校)



贈呈のようす
藤原校長(浦安小学校)と天野組合長(琴浦町酪農組合)

の小学校の児童クラブ等を利用する約220名へ200ml牛乳1000個を寄贈します。

輸入粗飼料の情勢

品 目	今後の改定要因			特 記 事 項
	品代	為替	フレート	
フレート			↑	北米コンテナ船情勢：コロナウィルスの影響で北米西海岸からアジア向けのコンテナ船においては、遅延や予約した船腹のキャンセルが増えている。北米西海岸出しの本船はアジア発の船の帰り荷がほとんどであるため、アジア発の船のキャンセルが多くなると、北米西海岸出しの船腹・空コンテナの供給に大きな影響が出ると考えられ、実際 PNW では影響が出始めている。中西部向けの輸入が減少している影響で PNW での空コンテナ供給の不安も聞かれるようになっている。 豪州航路：コロナウィルスの影響が出始めている。具体的には、乗務員へのコロナウィルス対策のため中国豪州間の本船では中国出航から 14 日以内に豪州の港へ到着しないように本船の航海スピードを通常より遅らせ運行している。この影響で一部の貨物で遅延が発生している。空コンテナについては現状まだ十分に供給されているが、豪州への輸入が低下し続けた場合、将来的に問題になっていく可能性がある。
ビートパルプ	↑	↓ (円高傾向)	↑	米国産は、例年に比べ生産量は約 13 万トン減少するとされている。4 月下旬にはすべての工場で製造を終える見込みとなっている。
スーダングラス	→	↓ (円高傾向)	↑	生産者は、昨年のスーダン価格に満足しておらず、時期尚早ではあるが、昨年規模の作付面積になるのではといわれている。
アルファルファヘイ	→	↓ (円高傾向)	↑	ワシントン州：当地では降雪の影響もあり、在庫品への水濡れ等のダメージも発生しており、供給力が限られている中、在庫の更なる欠減が心配されている。 カリフォルニア州：生産スケジュールの早い生産者は 2020 年産の 1 番刈の収穫を開始している。中国は旧正月前に十分に在庫を持っておらず、現在も在庫水準は低いと言われており、輸出向けの新穀発生とともに旺盛な買い付けが開始されることが予想される。
USチモシー	→	↓ (円高傾向)	↑	生産農家は取引価格に満足しておらず、収益性の高い他の換金作物への転作が始まっており、チモシーの作付面積は減少すると予測されている。
カナダチモシー	→	↓ (円高傾向)	↑	特になし
オーツヘイ	↑	↓ (円高傾向)	↑	3 月は今年の中でオーダー数が一番多い状況で工場もフル稼働のようである。 自然火災の影響を受けていた東部州は 2 月上旬よりまとまった降雨あり自然火災が終息した。この降雨はタイミングが良く放牧草の生育が進み、国内需要の逼迫感は緩和され始めている。
クレイングラス	→	↓ (円高傾向)	↑	ここ数年相場が安定していたため生産者の作付け意欲は強いものとなっている。順調に生育すれば、新穀の収穫作業は 4 月末から 5 月上旬から開始される見込みとなっている。
ストロー類	→	↓ (円高傾向)	↑	2 月 11 日に USDA から 2020 年産フェスキューとライグラスの作付見込面積が発表になった。ライグラスは 113,000 エーカー、ペレニアル種は 60,000 エーカー、フェスキューは 156,000 エーカーとなる見込みである。作付面積＝輸出用ストローの発生量とならないことは留意が必要である。



大山乳業農業協同組合 からのお知らせ

D a i n y u I n f o r m a t i o n

理事会だより

令和2年3月2日理事会にて 次の議案が決議されました

【3月2日提出議案】

- 第1号議案 令和2年度1月末実績検討について
- 第2号議案 令和元年度決算及び剰余金処分子案について
- 第3号議案 令和2年度事業計画について
- 第4号議案 ワクチン助成規程の一部変更について
- 第5号議案 自記温度計管理規定の新設について
- 第6号議案 定款の一部変更について
- 第7号議案 第53回通常総会及び総会提出議案について
- 第8号議案 総会での書面議決について
- 第9号議案 第53回通常総会の出席奨励金及び記念品について

異動辞令等

下記の通り 異動辞令が発令されました

異動辞令(令和2年3月21日付)

(所属及び役職)(氏名)(旧所属及び役職)
総務部
白バラ商事出向 調査役 山根 倫彦 営業課 課長補佐

異動辞令(令和2年4月1日付)

(所属及び役職)(氏名)(旧所属及び役職)
販売部
大阪伯耆駐在 課長 南場 信一 営業課 課長補佐
物流課 係長 松本 誠 広島営業所 係長

【営業所等】

広島営業所 再雇用嘱託 河野 裕夫 山口出張所 係長

営業課

新商品発売について (4月1日発売製品)

白桃バー

白桃の上品な甘さとコクのある乳の味わいをお楽しみください。

国産白桃果汁使用!!



35ml×10本

白バラいちご練乳アイスバー

自家製練乳とストロベリーピューレを加えたシロップに、砕いた氷を混ぜ込んだかき氷風アイスバーです。

爽やかないちごの甘さと乳の風味



55ml×5本

白バラチョコバナナ

バナナの風味とやさしい甘さが特徴のバナナアيسをクランチ入りのビターなチョコで包んだアイスバーです。

クランチの食感で食べ応えGOOD!!



55ml×5本

大山チーズケーキ

(ラムレーズン入り)

みるく風味豊かな味わいに、芳醇なラムレーズンがアクセントのスフレタイプのチーズケーキです。

白バラ牛乳使用



冷蔵 1個入り

大山まきば

大山まきばみるくの里 スプリングオープンについて

大山まきばみるくの里では、新型コロナウイルス感染防止のため3月14日(土)のスプリングオープンを延期しております。皆様にはご迷惑とご不便をお掛けし、誠に申し訳ございませんが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

尚、スプリングオープンの日程につきましては決まり次第ホームページ等でお知らせいたしますので今しばらくお待ちください。

ホームページ からのお声



■ 現在住んでいる地域のスーパーで見つけたら幸せな気分になります。昔を思い出して、子供達にお母さんが子供の頃に飲んでた牛乳だよって話しながら飲んでいきます。これからも飲み続けますよ。(愛媛県)

■ 先日工場見学に行きました。工場が稼働して沢山製品が出来た所が見えました。牛乳の他、コーヒール牛乳の試験もしてみたいです。これからも美味しい乳製品をよろしくお願いします。(鳥取県)

■ 白バラ大好きです。牛さんを大切に育てているからこそ、管理が徹底され、いつも美味しい牛乳が飲めるのだと感謝しています。これからも応援しています。(岡山県)

■ 新鮮でおいしい牛乳を私達がいただけていることに感謝しています。獣医さんのビデオなどを見て、獣医さんの明るさ、仕事への情熱、酪農家の牛さんへの愛情や白バラ認証など、いろんな工夫をされていることが素晴らしいです。本場に大事に牛乳をいただいています。(京都府)

■ 白バラ牛乳は小学校の給食からお世話になってます。今は我が子たちも給食で飲んで大ファンになりました。毎朝飲んでます。(鳥取県)

■ 先日、生協で白バラロールを注文し食べました。甘さ控えめでふわふわ!とてもおいしかったです。1個しか注文してなかったのに、いくつかが頼んでおけば良かったと後悔しています。(高知県)

白バラグッズより 新商品「白バラエプロン」が完成しました!!



この度、白バラグッズの新商品として「白バラエプロン」が完成いたしました。

エプロンは白バラ牛乳の紙パックデザインをそのまま落とし込んだ大胆なデザインと、カウイーをイメージしたデザインの2種類です。

皆さん、ぜひ白バラエプロンと一緒に料理など楽しんでください。

2020年3月28日(土)より

大山乳業農協直営店および白バラグッズ取扱店にて発売

大山乳業農協の新CMが完成 4月から山陰エリアで放送開始されます



少年の驚きの表情が印象的なこちらの画像はこの度新たに完成した大山乳業農協のCMの一場面です。

今回作成したCMは白バラの宅配牛乳のおいしさのヒミツを伝えることをコンセプトにしており、登場する少年のコミカルなリアクションやしぐさが印象的なCMに仕上がりました。

このCMは4月から山陰エリアのテレビ各局のCM中で放送開始されます。少年の驚きの理由は一体何なのか!? 気になった方は、ぜひテレビCMをチェックしてみてください。

カウイーの とっとりリップ



今月は
仁風閣(鳥取市)
にお出かけ!



仁風閣は、皇太子嘉仁親王の宿泊施設として建てられた別荘で、その外観の優雅さや日本庭園の美しさから国の重要文化財として指定されているんだよ! 結婚式の前撮りにも使われる素敵な場所だよ!!

酪農だよりに関するご意見・感想はメールアドレス
[email@dainyu.or.jp]まで
QRコードからもメールアドレスを取得できます▶



酪農だより vol.698

発行責任者/小前孝夫 編集責任者/平野 浩
印刷所/山本印刷株式会社 発行日/令和2年3月20日

あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます



今回は昭和51年3月20日発行の「酪農だより第170号」。2月26日に本所大会議室で開催された第9回通常総代会の様子です。総代会では今後の組合運営などについて意見が交わされました。

編集後記

依然として国内の感染が拡大している「新型コロナウイルス」ですが、あらゆる場面で社会的経済に大きな影響が出ています。ネットなどでの「デマ」にも気をつけて1人ひとり正しい行動をとりましょう!



大山乳業農業協同組合

〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp E-mail:email@dainyu.or.jp